

関西学院大学 2022 年度 大学院入学試験要項

言語コミュニケーション文化研究科 博士課程前期課程

(学内推薦入学試験)

アドミッション・ポリシー

言語コミュニケーション文化研究科は、高度な言語コミュニケーション能力を備え、建学の精神に基づく豊かな人間性と国際的視野をもった、高度の学問的専門性を備えた人材を輩出し、社会に貢献することを理念としています。その理念を実現するために、前期課程では次のような人材を求め、入学試験要項に定める試験科目を設定し、入学者選抜を行います。

- ・ 高度なコミュニケーション能力を身に付け、研究やビジネスにおいて国際的に活躍したいと考えている人
- ・ 異文化理解をベースとしたグローバルな視野を持ちたいと考えている人
- ・ 国際的に活躍できる英語および日本語教員を目指している人
- ・ 言語の実態を研究する言語科学、各言語（英語、フランス語、ドイツ語、中国語など）の背景にある文化を研究する言語文化学、実践的な言語教育方法を探求する言語教育学、外国語としての日本語教育を探究する日本語教育学の研究をしたいと考えている人

新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学試験内容等に変更が生じた場合は、
本学ホームページ内の入試情報サイトに変更内容を掲載します。出願前には必ずご確認ください。

■ 関西学院大学入試情報サイト：https://www.kwansei.ac.jp/graduate/graduate_000601.html

博士課程前期課程入学試験

I. 課程・専攻・募集人員

課程	専攻	入学定員 ^{※1}	募集人員 ^{※2}
博士課程前期課程	言語コミュニケーション文化	30名	若干名

※ 入学定員とは、本研究科における一学年の定員を指します。

※ 募集人員とは、本入試制度（学内推薦入学試験）において募集する人数を指します。

II. 出願期間・試験日・合格発表日

	出願期間 ^{※1}	試験日	合格発表日 ^{※2}
第1次	2021年 8月23日(月)～ 8月30日(月)15:00	9月11日(土)	9月15日(水)9:00
第2次	2021年 11月4日(木)～11月11日(木)15:00	11月27日(土)	12月1日(水)9:00

※1 出願最終日の出願受付は15:00までです。

※2 合格発表は、本研究科事務室前に掲示をするとともに、志願票に記載の住所・氏名宛に合否通知を速達で郵送します。また、合否に関する電話での問い合わせには、一切応じません。

III. 出願資格

1. 学内推薦入学試験（学内推薦入試）

本学を2022年3月卒業見込みであり、次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 出願時点までに、修得したすべての科目の平均点が80点以上である者。
- (2) 出願時点までに、修得したすべての言語教育科目※の平均点が80点以上、かつ修得したすべての科目の平均点が78点以上である者。

※法学部開講科目の場合は言語科目とします。

- (3) 複数分野専攻制の「英語コミュニケーション文化副専攻プログラム」を履修している者。
- (4) 在学中に、協定大学に交換留学、もしくは国連ユースボランティアまたは中期海外インターンシップに参加した者。

IV. 出願手続

1. 出願方法

出願期間内に、入学検定料を納入の上、出願書類を本研究科へ郵送（出願最終日は15:00まで必着）または持参してください。

(1) 入学検定料の納入

入学検定料：25,000円

<金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口での納入>

「電信扱」で納入してください。納入後、(B)(C)票に金融機関の出納印があることを確認してください。現金自動預払機(ATM)及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。(A)票に記載の金融機関の本・支店から振込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。また、(B)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

(注意事項)

- ・ 身体に障がいがあり、受験および入学後の就学に際して特別の配慮を必要とする志願者は出願開始日の1カ月前までに本研究科に申し出てください。
- ・ 入学後、健康診断を行いますので、出願時または入学手続時に健康診断書を提出する必要はありません。
- ・ いったん納入した入学検定料および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願手続について疑問がある場合は、本研究科事務室まで問い合わせてください。

(2) 出願書類の提出

<郵送の場合>

簡易書留郵便にて、後掲『問い合わせ』に記載の住所を確認の上、本研究科事務室まで、出願期間内に必着（出願最終日は15:00まで必着）するよう送付してください。なお、封筒のおもてに「言語コミュニケーション文化研究科前期課程 学内推薦入学願書在中」と朱書きしてください。

<持参の場合>

受付時間を確認の上、出願期間内に、本研究科事務室まで、持参してください。

受付時間：平日 9:30～11:30 および 12:30～15:00

土曜日・日曜日・祝日は閉室。

2. 出願書類

(注意事項)

- ・ 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。
- ・ 指定された出願書類以外の書類を提出された場合にも、選考には使用できません。

①入学願書	<ul style="list-style-type: none">・ 入学検定料を納入の上、(C)～(E)票を提出してください。・ 後掲の『◆志望プログラムと志望コースの選択』を参照の上、志望するプログラムと志望するコースをそれぞれ選び、○で囲んでください。言語文化学、日本語教育学プログラムは修士論文コースのみです。出願後の変更はできません。・ 後掲の『◆志望する演習担当教員の選択』を参照の上、演習科目担当教員を必ず3名選び、所定欄に記入してください。・ (D)票に記載された住所へ受験票を送付しますので、必ず受け取りのできる住所を記入してください。
②成績証明書	<ul style="list-style-type: none">・ 関西学院大学作成のもの（原本を提出してください）。
③卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none">・ 関西学院大学作成のもの（原本を提出してください）。ただし、成績証明書に卒業(見込)年月日の記載があれば不要です。
④履歴書	<ul style="list-style-type: none">・ 本研究科所定用紙に本人が日本語で入力してください。パソコン等で直接PDFファイルに入力の上、出力したものを提出してください。ただし、何らかの事情によりパソコン等で入力できない場合には、手書きでの提出でも可とします。
⑤研究計画書	
⑥その他	<ul style="list-style-type: none">・ 在留カードのコピー（A4サイズの用紙） 外国人留学生のみ提出。在留カード(表・裏)のコピーまたはパスポート(氏名および在留資格・在留期間が記載されている頁)のコピーを提出してください。・ 日本語運用能力に関する調書 外国人留学生のみ提出。本研究科所定用紙に本人が日本語で記入してください。また、日本語能力試験、日本留学試験等を受験したことがある者は、そのスコア表のコピー（A4サイズの用紙）も提出してください。・ 協定大学に交換留学し、出願資格（4）によって出願する者は、留学先大学が発行した成績証明書。ただし、ドイツ語圏の協定大学への留学者については、留学期間中にZDの取得に相当するレベルに達したことを証明する書類も添付すること。

◆ 志望プログラムと志望コースの選択

研究科パンフレット等を参照し、以下の表に従って入学願書(C)票および研究計画書に記入してください。

プログラム コース	言語科学	言語文化学			言語教育学	日本語教育学※	
		地域文化研究	多言語多文化学際	映像演劇文化		プロフェッショナル	アカデミック
修士論文コース	○	○	○	○	○	○	○
課題研究コース	○	—	—	—	○	—	—

※ 実習科目が必修である「プロフェッショナルプログラム」と実習科目を履修しない「アカデミックプログラム」は、入学試験出願時に本人が申請する。ただし、入学時に教育機関での日本語教育経験が3年未満の者は、「アカデミックプログラム」は選択できない。

(注意事項)

- ・ 出願後のプログラムの変更は、一切認めません。
- ・ 修士論文コースは、夜間のみ履修では修了できません（平日昼間に必修科目が配置されるため）ので、入学後の就業状況を十分に考慮の上、コースを選択してください。また、受験後のコース変更は、一切認めません。

◆ 志望する演習担当教員の選択

コースの選択によって、下表のとおり、入学後に履修する必修の演習科目が決まります。

	修士論文コース	課題研究コース
演習科目名（必修）	研究演習I・研究演習II	課題研究

2つのコースとも、入学願書の「志望する演習担当教員」欄に、志望する教員を下記の一覧から必ず3名選んで記入してください（1名ないし2名のみ記載しかない場合は、出願を受理できません）。志望順を明示したい場合は、教員氏名の左横に丸数字（①等）を記入してください。ただし、志望順どおりに演習科目担当教員が決定するわけではなく、演習科目担当教員を決定する際の参考とします。演習担当教員名は、本研究科で本人の志望と研究テーマを考慮の上、指導教員名と併せて3月中旬に決定・通知します。なお、原則、入学時に決定した演習担当教員、指導教員の変更は認められません（教員の留学等により、演習担当者、指導教員が変わることはあります）ので、「志望する演習担当教員」欄の記入にあたっては、研究内容、研究計画に沿って慎重に検討をしてください。

(注意事項)

- ・ 演習科目担当予定教員は、要項公開後に変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合は、本研究科ホームページ内「受験生の方へ>言コミ 入試要項等」でお知らせしますので、入学願書の「志望する演習担当教員」欄の記入に際しては、必ず変更の有無をご確認ください。
- ・ 本研究科所属教員との出願前のコンタクトを希望する場合は、出願する入学試験の出願期間の1週間前までに、本研究科事務室まで問い合わせてください（必ずしも、教員とのコンタクトをお約束するものではありません）。
- ・ 演習担当教員と指導教員が異なる場合があります。その場合、実際の研究に関する相談・助言・指導は演習担当教員が行います。

- ・ 課題研究コースでは、アドバイザー・コミッティが構成され、「課題研究」担当教員と他の教員2名の合計3名の教員が課題研究に関する相談・助言・指導にあたります。
- ・ 大学院副専攻「国連・外交コース」履修許可を受けた者は、口述試験の際にその旨を申し出てください。

2022 年度入学生の演習科目担当予定教員（五十音順）

石川 圭一、伊藤 正範、茨木 正志郎、岩松 正洋、于 康、上田 和彦、大高 博美、大東 和重、小笠原 亜衣、オストハイダ テーヤ、門田 修平、河村 克俊、氏木 道人、住吉 誠、田中 裕幸、塚田 幸光、田 禾、中川 慎二、中野 陽子、西村 正男、長谷 尚弥、長谷川 哲子、藤野 真子、増永 俊一、宮原 一成、森田 由利子、森本 郁代、ハンス ペーター リーダバッハ

※ 教員の研究内容・研究領域等は研究科パンフレット、研究科ホームページ、研究者データベース (<http://researchers.kwansei.ac.jp/>) 等の資料を参照してください。

V. 試験時間・試験内容・試験場（第1次、第2次共通事項）

試験時間	試験内容	試験場
9:00～※1	口述試験	西宮上ヶ原キャンパス（詳細は受験票にて通知）

※1 口述試験の開始時間は志願者によって異なります。なお、口述試験の時間と筆記試験の時間が重複することはありません。

1. 口述試験

口述試験は、研究計画書について行います。また、言語科学プログラム・言語教育学プログラムでは、英語の運用能力も確認します。

※ 必要に応じて研究対象言語の運用能力を確認することもあります。

（注意事項）

- ・ 受験票は必ず携行してください。紛失や当日忘れた場合は本研究科事務室まで申し出てください。
- ・ 携帯電話を時計として試験中に使用することはできません。
- ・ 口述試験は、指定された集合時刻までに受験者控室に入室・着席しておいてください。指定された集合時刻から15分以上遅刻した場合は受験することができません。
- ・ 不正行為者は全試験を無効とします。

入学手続

合格者は所定期間内に入学手続（IおよびII）を完了してください。

1. 入学手続 I <入学申込金の納入>

所定用紙を用い、入学（申込）金を下記期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。

第1次	2021年9月15日(水)～9月24日(金)
第2次	2021年12月1日(水)～12月8日(水)

<金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口での納入について>

「電信扱」で納入してください。振込依頼書に記載の金融機関の本・支店から振込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。現金自動預払機(ATM)及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。

2. 入学手続Ⅱ<学費・その他の諸費の納入および書類の提出>

以下の①および②を完了してください。関係書類については、学内推薦入試の入学手続Ⅰ完了者には2022年3月上旬に本研究科より送付します。

① 学費・その他の諸費の納入

上記「1. 入学手続Ⅰ」同様、金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口で納入してください。納入方法は上記「1. 入学手続Ⅰ」と同様です。なお、納入締切日は、2022年3月11日(金)です。

② 書類の提出

次の書類を2022年3月11日(金)15:00までに、本研究科に提出してください。郵送する場合は期間内に必着するよう送付してください。

- イ. 「住民票記載事項証明書」(市区町村発行 本学に入学する者の氏名、住所、生年月日、性別の証明のあるもの。「住民票の写し」でも可。外国人の場合は前述に加え、国籍、在留資格、在留期限の証明のあるもの。)
- ロ. 「学生証顔写真貼付台紙」(本学所定用紙)
- ハ. その他(「入学手続のご案内」に記載されている提出書類)

3. 入学式

2022年4月1日(金)10:00(予定) 西宮上ヶ原キャンパス

(注意事項)

- ・ 入学手続期間(ⅠおよびⅡ)内に所定の手続を完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
- ・ いったん納入した入学申込金または入学金は返還いたしません。
- ・ 入学手続Ⅰの期間内に納入した入学申込金(入学金と同額)は、学費・その他の諸費の納入と同時に入学金として取り扱います。
- ・ いったん納入した入学金以外の学費・その他の諸費は、定められた期間内に所定の手続きをすれば返還の請求ができます。なお、詳細は合格通知に同封する「入学手続のご案内」を参照してください。
- ・ 提出書類は返還しません。
- ・ 本研究科の事務取扱時間は、平日8:50から16:50(11:30から12:30は除く)です。

学費

2022 年度入学生の学費は未定です。なお、2021 年度入学生の学費は下記のとおりです。

	入学手続時（入学金＋春学期分）	秋学期分	合計
入学金	100,000円	－	100,000円
授業料	265,000円	265,000円	530,000円
教育充実費	79,500円	79,500円	159,000円
合計	444,500円	344,500円	789,000円

(注意事項)

- ・ 上記の他に、言語コミュニケーション文化学会費として 4,000 円を必要とします。

奨学金等

本学においては、以下の奨学金を受けることができます。なお、奨学金はいずれも採用人数に限りがあり、申請者が多い場合には選抜されます。ただし、ベーツ特別支給奨学金は研究科推薦による奨学金のため、この限りではありません。

- ・ 日本学生支援機構奨学金(2021 年度入学生実績)

第一種(無利子貸与)：50,000 円・88,000 円から希望貸与月額を選択<前期課程>

80,000 円・122,000 円から希望貸与月額を選択<後期課程>

第二種(有利子貸与)：50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円から希望貸与月額を選択

※特別学生は日本学生支援機構奨学金の出願資格はありません。入学後、研究科所定の条件を満たし、正規学生に身分変更することで出願可能となります。

- ・ 関西学院大学大学院奨学金

①ベーツ特別支給奨学金：年額で学費の全額相当額を支給（返還不要）

※採用は入学年度 1 年限りですが、大学が定める条件を満たして、申請をすれば次年度以降もベーツ第 1 種支給奨学生として継続採用されます。

②ベーツ第 1 種支給奨学金：年額で学費の半額相当額を支給（返還不要）

③特別支給奨学金：学費相当額の 2 分の 1 又は 40 万円のうち、いずれか少ない方の金額を支給（返還不要）

※家計状況が急変した者への経済援助を目的としています。

④緊急時貸与奨学金：未納となっている学費相当額を上限として貸与（無利子）、なお在籍期間中、

原則 1 回限り。※家計状況が急変した者への経済援助を目的としています。

※特別学生は特別支給奨学金の出願資格はありません。入学後、研究科所定の条件を満たし、正規学生に身分変更することで出願可能となります。

また、提携教育ローンおよび利子補給奨学金制度を設けています。いずれも一定の条件があります。

- ・ 提携教育ローン…大学が契約を結んだ金融機関で、一般よりも有利な条件で融資を受けることができます。

- ・ 利子補給奨学金…提携教育ローンの融資を受けた場合、在学中の支払利子相当額を奨学金として支給する

※特別学生は利子補給奨学金の出願資格はありません。入学後、研究科所定の条件を満たし、正規学生に身分変更することで出願可能となります。

教育職員免許状・学校図書館司書教諭・博物館学芸員資格

本学においては、本学卒業者、本学大学院在学者（他大学出身者を含む）または本学大学院修了者で教育職員免許状（中学1種・高校1種）、学校図書館司書教諭および博物館学芸員資格取得を希望する者に対して、科目等履修生制度を設けています。

入学予定者で上記の科目等履修を希望する者は、詳細について教務機構教職教育研究センター〈西宮上ヶ原キャンパス〉（電話 0798-54-6108）にお問い合わせください。科目等履修生の出願締切は3月上旬の予定です。なお、教育学部の卒業生で幼稚園教諭、小学校教諭および特別支援学校教諭の免許状取得のための科目等履修を希望する場合は、教育学部事務室（電話 0798-54-6503）にお問い合わせください。

大学院副専攻「国連・外交コース」

関西学院大学では複数分野専攻制（MS：Multidisciplinary Studies）として、大学院副専攻「国連・外交コース」を開設しています。本コースは、ミッション「“Mastery for Service(奉仕のための練達)”を体現する世界市民の育成」の下、国連・国際機関職員、外交官、国際 NGO 職員等、「世界の公共分野で活躍するグローバルリーダー」を育成することを目標としています。本コースでは、各研究科での本専攻の学びとあわせて、国連・外交に特化した科目群を履修します。本コースの履修を希望する者は必ず、研究科入試要項とともに、本学ホームページ別掲の「大学院副専攻『国連・外交コース』要項」を参照してください。また、国連・外交コースに関心のある方は、以下の国連・外交統括センターホームページも参照してください。

■大学院「国連・外交コース」サイト

https://www.kwansei.ac.jp/unfa/unfa_m_003729.html



個人情報保護への取り組み

関西学院大学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、出願に際して志願者から提供された個人情報については、志願者への連絡や入学準備、入学試験データとして利用し、安全管理のために必要な措置を講じています。

出願時に志願者から提供された個人情報は、関西学院大学に入学された後、入学者データとして利用するとともに、本研究科の教員と学生で組織する「言語コミュニケーション文化学会」の会員データとしても利用いたします。

また、関西学院大学への入学に際しては、下記の団体に対して、会員等への案内、機関誌送付を目的として、合格者データおよび入学後に教育・研究のために使用するデータから学生の氏名・住所・電話番号について関西学院大学と共同して利用させていただくことになります。なお、下記の関係団体についても個人情報の安全管理については関西学院大学と同様の安全管理措置を講じています。

「関西学院大学」と合格者の個人情報を共同して利用する団体

関西学院同窓会	同窓・学生の親睦団体であり、入学者に学生会員となっていただきます。
---------	-----------------------------------

入学試験過去問題

過去3年度に実施した入学試験（筆記試験のみ）の過去問題を公開します。過去問題を請求される方は、本研究科ホームページ内「受験生の方へ>言コミ 入試過去問題」より、請求方法を確認してください。

問い合わせ

言語コミュニケーション文化研究科事務室（所在地：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G 号館 1 階）

住所	電話番号	ホームページ URL
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155	0798-54-6180	https://www.kwansei.ac.jp/g_language/

以上